

第6学年〇組 社会科学習指導案

平成28年1月〇日 〇曜日 第〇時

指導者 〇 〇 〇 〇 印

1 単元 わたしたちの暮らしと憲法

2 単元の目標

- (1) 日本国憲法についての関心を深め、日常生活と憲法のかかわりを調べようとする。
- (2) 我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考えに基づいていることについて、調べたことや考えたことを表現することができる。
- (3) 日本国憲法の基本的な考え方を、各種の基礎的な資料を活用して具体的に調べることができる。
- (4) 日本国憲法は、国家の理想や天皇の地位、国民としての権利や義務など、国家や国民生活の基本を定めていることを理解することができる。

3 学習の計画 (6時間完了)

第1次 第1時(本時) 日本の「よさ」と日本国憲法とのかかわりに気付き、単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。

第2次 第2時～第5時 国民主権と選挙、基本的人権の尊重と国民の権利・義務、平和主義について調べる。

第3次 第6時 学習したことをまとめ、今後の日本や社会の在り方について話し合う。

4 本時の学習指導

- (1) 目標
 - 国民の暮らしと日本国憲法とのかかわりについて意欲的に考えようとする。
 - 日本国憲法の基本的な考え方について調べるための学習計画を立てることができる。
- (2) 準備・資料
 - 児童……児童用社会科資料集
 - 教師……三原則のカード、予想を書くカード、学習資料(日本国憲法前文を印刷したもの)
- (3) 関連
 - 6年 社会 新しい日本へのあゆみ(日本国憲法の制定過程と三原則)
 - 6年 社会 わたしたちの願いと政治のはたらき(国民生活と政治や法律とのかかわり)
- (4) 学習過程

段階	学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 事 項
学習問題をつかむ	1 歴史で学習した「憲法」を振り返り、本時の学習問題をつかむ。 (1) 歴史で学習した憲法を発表する。 ・十七条の憲法、大日本帝国憲法、日本国憲法 (2) わたしたちの暮らしと憲法について考え、本時の学習問題をつかむ。 日本「よさ」について発表して学習問題をつかみ、学習の計画を立てよう。	5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史で学習した憲法を想起させ、憲法について学習するという意識をもたせる。 ○ それぞれの憲法の内容には深入りせず、国の仕組みや国の在り方とともに関係があることをとらえさせる。 ○ 現在のわたしたちの生活の根底に、日本国憲法が存在していることに気付かせ、憲法の精神を理解することが大切であるという認識をもたせる。
見通しを立てる	2 日本の「よさ」について話し合い、単元の学習問題をつかむ。 (1) 日本の「よさ」について発表する。 ・教育を受けることができる。 ・女性も男性と同じようにいろいろな仕事をしている。 ・戦争をしない。 ・高齢者や障害者に生活しやすい社会になっている。 ・戦争をしない。 ・国民の祝日がたくさんある。 (2) 日本国憲法の前文を読む。 (3) 日本国憲法と「よさ」とのかかわりについて全体で話し合い、単元の学習問題をつかむ。 わたしたちの豊かなくらしを実現するために、日本国憲法はどのようなはたらきをしているのだろう。	15	<ul style="list-style-type: none"> ○ ノートに書かせてから、発表させる。 ○ 憲法に関係があるかないかという視点にこだわらず、自分たちが住んでいる国について多くの「よさ」を引き出したい。 ○ 日本の「よさ」が多くあることで、生活の根底にある日本国憲法の「よさ」にもつながっているという実感をもたせる。 ○ 教科書P.23学習資料を示し、憲法に関係した祝日があることにも気付かせる。 ○ 前文(要約)を提示する。 ○ 前文と予想した「よさ」について関係がある部分を考えさせ、話し合わせる。 ○ 前文の「再び戦争の災いがおこることのないように」という部分と「主権が国民にある」という部分に着目させ、単元の学習問題につなげる。

追 究 す る	<p>3 単元の学習問題について予想し、学習の計画を立てる。</p> <p>(1) 日常生活と日本国憲法とのかかわりについて予想をカードに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法律で決まっているから、みんな平等だと思う。 ・税金を払っているから、いろいろな補助を受けることができる。 ・原爆が落とされて戦争に負けたから平和な国にしようと努力している。 <p>(2) 全体で自分の予想を発表し合う。</p> <p>(3) 調べる内容について三原則カードと予想カードを使ってグループで話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが平等なのは、基本的人権の尊重に関係していると思う。 ・「幸福と利益は国民が受ける」とは、補助を受けることに関係しているだろう。 ・平和な国にするために、平和主義を原則にしている。 ・国民の祝日があるのは、主権が国民にあるからだと思う。 ・政治の力は国民の代表者によって使われることは、選挙と関係があるかな。 <p>(4) 調べる方法や表現の仕方を決めて、カードに記入し、グループ内で発表する。</p> <p>(調べる方法) 教科書、資料集、本、インターネット (表現の仕方) 作文、図、新聞</p>	<p>○具体例を示しながら多様な予想が発表されるように支援する。</p> <p>○既習の学習内容や生活経験を想起させて根拠や理由を記述させるようにする。</p> <p>○学習問題についての予想を発表したり、計画を話し合ったりする場面を言語活動に位置付ける。</p> <p>評 予想をカードに書き、進んで発表している。(カード、発表)</p> <p>○日本国憲法の「国民主権」「基本的人権の尊重」「平和主義」という三つの原則を言葉としておさえ、前文からそれらの原則が憲法の基になっていることをとらえさせる。</p> <p>○話し合いがしやすい4人程度のグループ編制にする。</p> <p>○カードを使用することで、三原則と予想の関連を視覚的にとらえて検討しやすくする。</p> <p>○机間指導により、予想と関連させにくい「国民主権」「基本的人権の尊重」を中心に意見交換を促す。</p> <p>○話し合い後、自分の予想と関連すると判断した三原則をカードに記入させる。</p> <p>○調べる方法、表現の仕方が思いつかない児童がいるグループには、グループ内で助け合えるように声かけをする。</p> <p>評 三つの原則について調べる内容、方法、表現の仕方を明確にしている。(話し合い、カード)</p>
ま と め る	<p>4 本時のまとめをし、次時の学習の内容をつかむ。</p> <p>(1) 三つの原則があることをノートにまとめる。</p> <p>(2) 次時は国民主権とわたしたちの暮らしとのかかわりを調べることを知る。</p>	<p>○三つの原則をノートにまとめ、憲法の基本的な考え方について調べていくことを意識させる。</p> <p>○単元の学習問題を確認させ、三つの原則を調べていくことをおさえて、次時の学習意欲につなげる。</p>

(5) 本時の評価規準

- 身近な事例を基に、日本国憲法と日常生活とのかかわりについて自分の考えをカードに書き、進んで発表している。(カード、発表)
- 日本国憲法の三つの原則について調べる内容を話し合いによって明確にし、調べる方法や表現の仕方について書いている。(話し合い、カード)

5 備 考

(1) 学級の実態

- 意欲的に歴史学習に取り組んできた児童が多い。憲法の制定過程や憲法の内容についておおむね理解しているが、自分たちの生活が憲法と深い関連があることに気付いている児童は少ない。

(2) 指導の力点

- 既習の学習内容、見方や考え方を単元の導入として取り上げることで、児童の問題意識を高めさせる。また、学習計画を立てる場面においては、憲法の前文を提示することで、憲法の内容や基本的な考え方に触れることができるようにし、日常生活との具体的なかかわりを基に、憲法の存在とその役割に気付かせるきっかけとする。

6 指導と評価